

【夏の風とともに 7月】

京都市立下京中学校
校長 安居 昌行

「小さな自省を重ねる」

梅雨空が続きます。突然の豪雨や夏日が続いたと思えばあまり気温が上がらない日もあり、通学時の「安全」確保や「健康」管理がとても大切な時期となりました。

さて、4月6日に始まり、翌7日の入学式からスタートした下京中学校の「志 風の期間」も7月17日の「志 風の式」で一つの区切りとなります。3か月余りの期間で修学旅行や高校体験学習、校外学習など様々な体験をした生徒たちも成長し、学校で自分が所属する「学習や生活」の「集団」を高めていこうとしています。

ところで、この時期になるとこれまでの取組や日常生活について「反省」することが多くなります。特に、テストについては懇談会などでその数字を振り返って、すぐに次の対策を考えることが多いです。しかし、「学習や生活」の「習慣」をなかなか改めることができないということはありませんか。私自身もいつもぎりぎりならないとこの文章を書くことができず、反省はするけれども、次につながらないと考えているとき、次のような文章に出会いました。

「反省」は、夏休みの絵日記と同じ。あとで一度にまとめてやろうとしても、思い出せない。『僕は一試合一試合、振り返っています。まとめて振り返ることはしません。』イチローは試合後、必ずロッカールームで自分のプレーを振り返るといふ。昨日より今日、今日より明日と、日々前進を求められるプロの世界で、“来月はこうしよう。来年はこうしよう”と悠長なことは言っていられない。・・・小さな自省を重ねることが、勝負強さを手に入れる、多分、一番早い方法なのだ。」（『この一言が人生を変える イチロー思考』児玉光雄）

今からでも遅くはありません。その都度、自分の行動とその結果を考えてみる「習慣」を身につけることが大切です。「・・・毎晩“明日必ず達成すべき目標”を決め、それを実行する。それだけで仕事の成果は確実にあがる。・・・」（同書）

夏休みに入ってからではなく、今日から実行していきたいと思えます。とりわけ、三年生は大切な中学校生活最後の夏休みが間もなく始まります。悔いのない「夏」にするため、小さな「自らを省みる」習慣を身につけていきましょう。



〈「悟りの窓」 鷹峯源光庵にて〉